

鹿児島市デジタル田園都市構想総合戦略～第2期鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂版）～（素案）に係るパブリックコメント手続の実施結果について

1 意見の募集期間 令和5年12月21日（木）～令和6年1月25日（木）（36日間）

2 意見の提出者数（件数） 14人、1団体（56件）

3 意見の対応状況 (単位：件)

項目 対応区分		1 『第1章 デジタル田園都市構想の実現』について	2 『第2章 デジタル田園都市構想の実現に必要な施策の方向』について			3 その他、戦略（素案）全般について	計
			(1) 基本目標	(2) 重点戦略	(3) 積極・適応戦略		
A	意見の趣旨等を反映し、戦略（案）に盛り込むもの	1	0	0	2	0	3
B	意見の趣旨等は、戦略（素案）に盛り込み済みのもの	2	8	6	7	6	29
C	戦略（案）には盛り込まないもの	0	1	0	0	0	1
D	具体的な事業の実施にあたり参考にするもの	0	0	3	2	2	7
E	その他要望・意見等	4	0	2	4	6	16
計		7	9	11	15	14	56

デジタル田園都市構想総合戦略～第2期地方創生総合戦略改訂版（素案）～に係るパブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について

意見の提出者
14人、1団体

項目	件数
1 『第1章 デジタル田園都市構想の実現』に関する意見	7
2 『第2章 デジタル田園都市構想の実現に必要な施策の方向』に関する意見	
(1) 基本目標	9
(2) 重点戦略	11
(3) 積極・適応戦略	15
3 その他、戦略（素案）全般に関する意見	14
合計	56

対応区分	件数
A 意見の趣旨等を反映し、戦略（案）に盛り込むもの	3
B 意見の趣旨等は、戦略（素案）に盛り込み済みのもの	29
C 戦略（案）には盛り込まないもの	1
D 具体的な事業の実施にあたり参考にするもの	7
E その他要望・意見等	16
合計	56

No	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
1	1	P2「4 計画期間」について、「第2期総合戦略（令和4年～8年）の5年間で、今回の改訂については、令和6年～8年の3年間とします。」とした方が良いと思う。	ご意見の趣旨を踏まえ、総合戦略の計画期間の表中に改訂後の期間を付記します。	A
2	1	デジタル社会になってきているため、デジタルを活用して地方創生するのは良い取り組みだと思う。	賛同のご意見として承り、総合戦略の推進に取り組みます。	B
3	1	まち・ひと・しごとの観点からデジタルを全面的に活用していることが分かったが、今よりもっと若い世代からの意見をもらうには身近に鹿児島を発信していくべきだと感じた。	ご意見については、「重点戦略(2)“次代につなぐ ふるさと担い手”創出プロジェクト」の「(2)関係人口の創出・拡大」で「①デジタルプロモーション等による都市ブランディングの推進」に取り組むこととしております。	B
4	1	これからの新しい世代が暮らしに必要な環境、医療、教育、水、電気、通信。地方で、どんな世代も豊かに暮らせる環境を目指し、取り組み続けて欲しいと思います。	ご意見として承ります。	E
5	1	「3 本市の地域ビジョン」の「総合計画」が何なのか分かりにくいと感じました。	ご意見の趣旨を踏まえ、2ページの1行目の文中「第六次鹿児島市総合計画」の後に、「（以下、「総合計画」という。）」を追記します。	E

No	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
6	1	デジタル的な取り組みをしていることがあまり実感できない。	誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現に向けて、デジタルの力を活用した地方創生の取組を積極的に展開し、情報発信にも努めてまいります。	E
7	1	「便利で快適に暮らせる社会」と幸福度（本当に望んでいる生活のあり方）とを常に考えながら進めてほしい。デジタルの力でテレワークが可能になった人々が鹿児島島に移住したいと思うために必要なものは何か？自然環境や農林水産業を生かした生活の原点を忘れないでほしい。	ご意見として承ります。	E
8	2 (1)	つくる・かなえる・みがく・つなぐ 素晴らしい目標だと思います。人口が減少していても、豊かな暮らしを続けてゆくことが可能な街に。豊かな人を育てることで、豊かな暮らしが実現可能に。都会と同じ街づくりにしないことが重要。「豊かさ」の基準は、都会ではないことに気づき、自然と向き合う時間を含む日々の暮らし方や、鹿児島市の魅力を世界に発信できることが望まれる。	賛同のご意見として承り、総合戦略の推進に取り組みます。	B
9	2 (1)	鹿児島の給料は低いという認識があるため、「基本目標1 稼げるしごとで活力を『つくる』」という目標は力を入れてほしいと感じた。	ご意見については、引き続き、「基本目標1 稼げるしごとで活力を『つくる』」に掲げる目標の達成に向けて、各種施策を積極的に展開してまいります。	B
10	2 (1)	「基本目標1 稼げるしごとで活力を『つくる』」のところに力を入れると、若者が鹿児島島を出ていく割合が減ると思う。	ご意見については、引き続き、「基本目標1 稼げるしごとで活力を『つくる』」に掲げる目標の達成に向けて、各種施策を積極的に展開してまいります。	B
11	2 (1)	これらをすべて実現できればすごく良い都市になると思った。	賛同のご意見として承り、総合戦略の推進に取り組みます。	B
12	2 (1)	目標はしっかりしているの、あとは鹿児島にどれだけの人が集まってくれるか次第だと思った。鹿児島でしかできない体験はどのようなのかPRすればよいと感じた。	ご意見については、「重点戦略(2) “次代につなぐ ふるさと担い手” 創出プロジェクト」の「(2)関係人口の創出・拡大」で「②市外在住者への体験機会の提供」に取り組むこととしております。	B
13	2 (1)	「稼げるしごと」という言葉が漠然としていてあまりイメージが湧かない。どれも単に「デジタルの力を」と記されているが、どのようなデジタルの力なのか明確にしてほしい。	ご意見のあった「稼げるしごと」については、地域産業の競争力強化や新産業の創出などの取組を推進するにあたってのキーワードとして用いております。 また、「デジタルの力」については、各戦略の《主な施策及び重要業績評価指標（KPI）》において、具体的な取組を記載しております。	B

No	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
14	2 (1)	1~4の目標は大変重要なことは分かる。「デジタルの力を活用」するのも結構であるが、その枠組みの中で結局具体的に何をするのか施策が問われる。	ご意見については、各戦略の「主要な施策及び重要業績評価指標（KPI）」において、具体的な取組を記載しており、デジタルの力を活用しながら積極的に展開してまいります。	B
15	2 (1)	「人口ビジョン」で示した基本的視点と国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における施策の方針に沿って本市が掲げた4つの基本目標について賛同いたします。	賛同のご意見として承り、総合戦略の推進に取り組みます。	B
16	2 (1)	P6 基本目標3の4行目、「～、デジタルの力を活用し、ひとが集う～」を「～、デジタルの力を活用し、東南アジアを中心にインバウンド対応の強化を図り、ひとが集う～」とした方が良いと思う。	ご意見のあった基本目標については、様々な施策の展開に向けた大きな方向性を示すものとして記載していることから、素案のとおりとしたいと考えております。	C
17	2 (2)	P9の重点戦略(1)「“世界に選ばれるまち KAGOSHIMA”推進プロジェクト」の中に鹿児島らしさを入れてもらいたい。	ご意見については、本市の特性の1つである世界に誇れる個性豊かな観光資源を生かしながら、施策を展開することとしております。	B
18	2 (2)	重点戦略(1)について、インバウンド来訪は、クルーズ船も賑わいますが、決まった場所でお金を使うタイミングがない。それ以外の日本リピーターに、満足度の高い集客ポイントとして、桜島は魅力的な場所。今後は、滞在していることで気持ちよく消費活動がうまれる動線が必要。	ご意見については、「重点戦略(1)“世界に選ばれるまち KAGOSHIMA”推進プロジェクト」-「(1)インバウンド対応の強化」で、「②外国人観光客向けの新たな魅力の創造」、「③安心快適な受入環境の整備」及び「⑤クルーズ船の観光客が鹿児島の魅力を体験できる環境づくり」に、引き続き取り組むこととしております。	B
19	2 (2)	重点戦略(3)について、デジタルは暮らしの向上に欠かせない。60代を過ぎて、故郷に戻ってこられるよう活動的なシニアの活躍の場も増やして、老後安心して暮らせるシステムがあると良い。移住した人に対して、地元の相談係など息の長いサポートと明るい未来をイメージできる環境を。	ご意見のあったデジタルによる暮らしの向上については、「重点戦略(3)“デジタル技術で豊かなまち”創造プロジェクト」-「(2)市民生活の利便性向上」の「①ICTの活用による市民サービスの向上」や「(5)誰一人取り残されないための取組」の「①全世代におけるICTリテラシー向上の推進」に取り組むこととしております。 また、移住者支援については、「適応戦略(1)ひと・まちを多彩に『つなぐ』」-「(4)移住の促進」で「・相談・受入体制の充実」に取り組むこととしております。	B
20	2 (2)	コロナ禍が落ち着き、海外の観光客が増加しているため、この戦略は良いと思った。私は英語科に属しているので海外の人が増えてくれると嬉しい。	賛同のご意見として承り、総合戦略の推進に取り組みます。	B
21	2 (2)	3つの大きなプロジェクトを芯にしている鹿児島市だが、「ふるさと担い手」はもっと育成する方が良いと感じた。これから人口が減っていく中で鹿児島を知ってもらう機会を増やすと良いと考えた。	ご意見については、「重点戦略(2)“次代につなぐ ふるさと担い手”創出プロジェクト」で「(1)ふるさと教育の推進と大学との連携強化」や「(2)関係人口の創出・拡大」に取り組むこととしております。	B

No	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
22	2 (2)	「デジタルプロモーション」はどこで発信されるのか気になった。テレビやホームページだけではなく、SNSをもっと活用すべきだと考える。	ご意見については、「重点戦略(1)“世界に選ばれるまち KAGOSHIMA”推進プロジェクト」-「(1)インバウンド対応の強化」-「①各市場の特性に応じたデジタルプロモーション等の展開」において、具体的な事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。 また、「重点戦略(2)“次代につなぐ ふるさと担い手”創出プロジェクト」-「(2)関係人口の創出・拡大」-「①デジタルプロモーション等による都市ブランディングの推進」で、SNSの活用に取り組みたいと考えています。	B
23	2 (2)	P12の重点戦略(3)「“デジタル技術で豊かなまち”創造プロジェクト」の「(5)誰一人取り残されないための取組」のKPI「市民向け講座等の参加者数」の目標値をもっと増やしてもらいたい。	ご意見のあった目標値については、市内全域を対象に、過去の参加実績を元に効果的に実施できる人数で積算しております。ご意見の趣旨を踏まえ、「重点戦略(3)“デジタル技術で豊かなまち”創造プロジェクト」-「(5)誰一人取り残されないための取組」-「①全世代におけるICTリテラシー向上の推進」において、さらなる取組を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
24	2 (2)	P10「(2)関係人口の創出・拡大」とする場所に「③市民動画投稿者(Youtuber)による情報発信」という考え方を反映すべき。 本市は、これまでも歴史や文化、食の情報発信について、インターネットを積極的に活用してきたが、発信方法に工夫が必要であると考えられる。 例えば、「高校生や若者が天文館を食べ歩く動画投稿」や「バイクや自転車で海岸線をつーリングする動画投稿」や「錦江湾で船釣りを楽しむ動画投稿」など、県内外・国外はもちろん、市民も楽しめる情報を発信する。	ご意見については、「重点戦略(2)“次代につなぐ ふるさと担い手”創出プロジェクト」-「(2)関係人口の創出・拡大」-「①デジタルプロモーション等による都市ブランディングの推進」において、具体的な事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
25	2 (2)	結婚や出会いなどにSNSを活用するのはあまり賛成ではないが、母子保健などに活用するのは良いと思った。	ご意見については、「積極戦略(2)結婚・出産・子育ての希望を『かなえる』」-「(3)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」において、具体的な事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
26	2 (2)	「重点戦略(2)“次代につなぐ ふるさと担い手”創出プロジェクト」で、鹿児島島の伝統文化を密に若者とつなぐために、鹿児島に古くから伝わる料理などを体験できる講座があれば良いと思いました。	ご意見として承ります。	E
27	2 (2)	鹿児島らしい全国に類を見ないような重点戦略は何なのか？失敗を恐れずに画期的なことに取り組んでほしい。既存の取組の数量的な目標のみならず新規なことをたくさんチャレンジする。1つでも成果が上がれば起爆剤になる。	ご意見として承ります。	E

No	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
28	2 (3)	P16「インターネット環境を活かした児童クラブの支援の質の向上」のところを「児童施設向けICTシステム導入による児童クラブの支援の質の向上」という表現にすべき。 幼稚園・保育園・こども園ではICTシステムの導入が進んでいるが、小学校に進学すると、紙と電話の旧態依然としたコミュニケーションツールに戻ってしまい、保護者が戸惑うことが多い。共働き世帯が利用する児童クラブこそ、DXが必要だと考える。	ご意見の趣旨を踏まえ、「積極戦略(2)結婚・出産・子育ての希望を『かなえる』」-「(4)子育て支援の充実」-「②放課後における児童の健全育成」の「・インターネット環境を活かした児童クラブの支援の質の向上」を「・ICTを活用した児童クラブの支援の質の向上」に修正します。	A
29	2 (3)	P20「(2)①・デジタルツールによる地域活動への多様な世代の参加支援」のところを「・デジタルツール(SNS)による地域活動発信への多様な世代の参加支援」という表現にすべき。 町内会・地域コミュニティ協議会の中心となる世代がデジタル化・DX化に前向きになれば、本市は飛躍的にDX化できると考える。そのために、情報発信方法を明確にし、支援していく。	ご意見の趣旨を踏まえ、「適応戦略(1)ひと・まちを多彩に『つなぐ』」-「(2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成」-「①住民主体の地域づくりの促進」の「・デジタルツールによる地域活動への多様な世代の参加支援」を「・デジタルツール(SNS等)による地域活動への多様な世代の参加支援」に修正します。	A
30	2 (3)	P15~16「結婚・出産・子育ての希望を『かなえる』」の目標値に近づけるために、行政と関係団体がどのようにデジタル技術を活用し、市民へ広報していくのか具体策を記載した方がよいと思う。	ご意見については、《主な施策及び重要業績評価指標(KPI)》において、同積極戦略の推進に向けた取組を記載しており、数値目標の達成に向け、デジタルの力を活用し、更に取り組んでまいります。	B
31	2 (3)	ユニバーサルツーリズムの拠点となって欲しい。インフラや2次交通、旅人がゆっくり滞在できる空間、まちづくりが必要。	ご意見については、「積極戦略(3)ひとが集うまちの魅力を『みがく』」-「(2)ひとが集うまちなか環境の充実」の「①観光客受入体制の充実」で「・ユニバーサルツーリズムの推進」に取り組むこととしております。	B
32	2 (3)	桜島で育つ子供たちにも、積極的に地域の創生に参加してもらいたい。桜島では特に、ジオパークを取り入れた学習も、ぜひ活用して欲しい。	ご意見のあった子供たちの地域活動への参加については、「適応戦略(1)ひと・まちを多彩に『つなぐ』」-「(2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成」の「①住民主体の地域づくりの促進」で「・地域活動の支援」に取り組むこととしております。 また、ジオパークを取り入れた学習については、「積極戦略(3)ひとが集うまちの魅力を『みがく』」-「((1)個性豊かな資源の価値向上)の「①オンリーワンの魅力創出」で「・自然、歴史・文化、食などの魅力活用」に取り組むこととしております。	B
33	2 (3)	桜島に移住を促進し、地元の若者が定着して暮らし続ける為には、強いサポートが必要と考えます。	ご意見については、「適応戦略(1)ひと・まちを多彩に『つなぐ』」-「(4)移住の促進」で「・相談・受入体制の充実」に取り組むこととしております。	B

No	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
34	2 (3)	「積極戦略(2)結婚・出産・子育ての希望を『かなえる』」は、これからの私たちにとって重要なことなので力を入れていって欲しいと感じた。	ご意見については、引き続き、「積極戦略(2)結婚・出産・子育ての希望を『かなえる』」に掲げる目標の達成に向けて、各種施策を積極的に展開してまいります。	B
35	2 (3)	出産・子育て支援のオンライン等の導入の案はとても良いと思った。優先的に導入すべき。	賛同のご意見として承り、総合戦略の推進に取り組みます。	B
36	2 (3)	新たに設定されたKPIについては、ホームページ閲覧数やアクセス件数、セミナーへの参加者数など、事業実績的な数値目標が多い気がする。これらの数値目標を達成するだけで満足することなく、実績がしっかりと目指すべき成果（アウトカム）に繋がっているのか、定期的に検証することも十分留意していただきたい。	ご意見のあったKPIについては、デジタル技術を活用した取組の実施量を評価する指標となっており、これらの実施による施策全体の成果について、毎年度、効果検証を実施することとしております。	B
37	2 (3)	シニアは自動車免許を返納しても、桜島や地方で買い物や病院など移動に困らない交通システム。地域限定のドライバー制度などを生み出し、ガソリンを使わないECOでスマートなバスが桜島一周を走っていたら、それが目玉となるかもしれない。観光で来る人々にも、優しいまちになれると信じています。	ご意見については、「適応戦略(1)ひと・まちを多彩に『つなぐ』」－「(1)人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進」の「①都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成」で「・公共交通ビジョンの推進」、「・公共交通不便地等における交通手段の確保」及び「・ICTを活用した利用しやすい公共交通の推進」において、具体的な事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
38	2 (3)	「適応戦略(1)①都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成」について、普段通学などでバスをよく利用するのですが、あるバスは混み合っていたり、または閑散としているバスもあるので、需要と供給にあった有効的なバスに乗りたいです。	ご意見については、「適応戦略(1)ひと・まちを多彩に『つなぐ』」－「(1)人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進」の「①都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成」で「・公共交通ビジョンの推進」や「・ICTを活用した利用しやすい公共交通の推進」において、具体的な事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
39	2 (3)	実際に暮らす中で、病院や学校買い物などで、対岸の市街地へ行き来するための、フェリー乗船料金が負担になっていると思う。フェリーの収益にも影響はあると思うが、そこを乗り越える知恵と工夫が必要。乗船料を上げれば上げるほど、島の暮らしは遠のく。	ご意見として承ります。	E
40	2 (3)	桜島をもっと魅力ある場にするために施設などを増やす。	ご意見として承ります。	E
41	2 (3)	オンラインを活用した人材育成やアプリでの支援などはまだ全然広まってきていないと思った。確実に使ってもらえるような工夫が必要であると考えた。	誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現に向けて、デジタルの力を活用した地方創生の取組を積極的に展開し、情報発信にも努めてまいります。	E

No	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
42	2 (3)	数量的な目標を立てることは必要だし成果を実感（主張）できるだろう。他方、市民が求めているものは鹿児島にしかないもの（鹿児島に住んで良かった）と感じられることではないか。それがあれば少々不便でもよいのでは。	ご意見として承ります。	E
43	3	P5～6、P9～20の中の表（数値目標・KPI）に出典名や参考にした年度を記載した方がよい。	ご意見のあった数値目標及びKPIについては、基本目標及び施策の効果を客観的に検証するために設定したものであり、基準値・年度及び令和8年度の目標値を記載しております。	B
44	3	積極戦略「人口減少に歯止めをかける取組」では、人口動態からくる人口減少が明示されている。しかし、18歳（高卒後）、22歳（大学卒後）による若者の人口流出については対策が示されていない点は残念である。本県の出身者が、よいよ高等教育や就労のために東京など大都市を求めることは「必然の流れ」となっている。	ご意見については、「積極戦略(1)稼げるしごとで活力を『つくる』」－「(2)魅力的で安定した雇用の場の確保」で「①企業立地の推進」「②若者、女性、高齢者等の就労支援」に、また、「積極戦略(2)結婚・出産・子育ての希望を『かなえる』」－「(1)若い世代の経済的安定」で「①若者の就業支援」に取り組むこととしております。	B
45	3	あらゆる分野でデジタル化が進んでいますので、積極的に取り入れる姿勢は良いと思います。	賛同のご意見として承り、総合戦略の推進に取り組みます。	B
46	3	これらの各目標や戦略がどのくらいの期間で達成されるのか、またはいつまでに達成することを目標としているのか示してほしい。	ご意見については、数値目標及びKPIの目標年度を令和8年度としており、その達成に向けて、各種施策を積極的に展開してまいります。	B
47	3	計画期間は令和8年度までであり、改訂後の計画は今後3年間だけが対象となるが、デジタルの技術・力は日進月歩で進化、変化していくことを考えると、固定化することなく、計画期間内であっても情勢を踏まえた必要な見直しを随時行うようにしてほしい。	ご意見については、本戦略は、社会経済情勢や市民ニーズにも的確かつ柔軟に対応するようPDCAサイクルを構築しており、毎年度、効果検証を実施し、必要な見直しを行うこととしております。	B



No	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
48	3	<p>積極戦略(1)稼げるしごとで活力を『つくる』に関して、中小・中堅企業DXの推進により、戦略でも記載のとおり、国内外への販路拡大、商品・サービス等の高付加価値化や女性や高齢者等の活躍促進が図られるものと考えており、大消費地から遠い当市の地理的制約を考慮すると、他地域に増して、DX化の推進は重要と考えております。デジタル化やDX化により、先に挙げた効果のほか、労働生産性の向上や事業の円滑化が図られるものの、その一方で、システムが停止した場合の事業への深刻な影響やサイバー犯罪に巻き込まれた際の企業信用や業績への影響は甚大になることから、DXの推進とともにセキュリティも同等に推進すべきと考えておりますので、当該戦略にセキュリティに関する施策を追記いただきたい。</p>	<p>ご意見については、デジタル技術も活用しながら、「積極戦略(1)稼げるしごとで活力を『つくる』」に掲げる目標の達成に向けて、各種施策を積極的に展開してまいります。 また、企業のセキュリティの推進については、ご意見として承ります。</p>	B
49	3	<p>重点戦略2「次代につなぐ ふるさとの担い手創出プロジェクト」では、「大学との包括連携の推進」がある。本プロジェクト以外にも「デジタルプロモーション」など「データサイエンス」「ICT」関連の文言が散見されるが、こうしたプロジェクトを推進する人財の確保のめどはあるのであろうか？ 「データサイエンス」の底上げが国策として取り組まれているが、本県は鹿児島大学だけが対応できるが、他の大学・短大では「データサイエンス」関連の学科、専攻などの創設が不明瞭である。この領域の人材が他県に流出し、本市のプロジェクトに貢献できる人財を本県の高等教育機関からは求められないことになる。短大にもあれば、県外流出は少なく、人財確保ができるのではないか。短大生は県外流出が少ない。就学支援資金などの借金も少なく、稼働人口となる。この点でも、卒業後の生涯教育の充実が図られ、特にオンラインで行われると、新しい時代に取り残されない市民を再生できる。 短大で「データサイエンス」を担当し、友人の力を借りて、Google siteでのホームページ作成、LINEのスタンプ作成を授業で行っている。その友人は定年後故郷鹿児島に帰ってきている。こうした人財は少なくないはずである。本県は理系大学がなく、県外流出は必然であるかもしれないが、定年後などに帰郷している人財と提携による本方向を実現することも重要ではないか。 市の支援による事業で、「データサイエンス」の市民への普及を図るプロジェクト（デジタル人財の確保）を期待したい。</p>	<p>ご意見については、「重点戦略(3)“デジタル技術で豊かなまち”創造プロジェクト」-「(4)デジタル人材の育成・確保」-「①研修やセミナー等を通じた人材の育成・確保」において、具体的な事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。</p>	D

No	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
50	3	公共交通機関をもっと便利に使えるように交通系ICカード（PASMO、SUICA等）が利用できるようにしてほしい。	ご意見については、「適応戦略(1)ひと・まちを多彩に『つなぐ』」ー「(1)人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進」の「①都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成」で「・公共交通ビジョンの推進」において、具体的な事業を進めるにあたっての参考とさせていただきます。	D
51	3	「テレワーク」「PDCAサイクル」「デジタル」「SNSフォロワー数」「ICT」「DX」「モビリティサービス」など横文字があり分かりにくいので、注釈があればわかりやすいと思う。	ご意見の趣旨を踏まえ、横文字など、分かりにくいと考えられる言葉がないか、改めて精査したうえで注釈を設け、市民にとって分かりやすい戦略となるようにしてまいりたいと考えております。	E
52	3	金融の授業が教育でも取り上げられ、資産運用として、市民のリテラシーを上げることも重要である。人口減少などによる国力低下、円安など資産価値は低下するなかで、株式やFXなどの金融の知識を高めることも肝要と思える。	ご意見として承ります。	E
53	3	色が使っており見やすく、理解しやすかった。	ご意見として承ります。	E
54	3	サッカースタジアム建設に関して反対。サッカーが鹿児島と結びつくとは思えない。もっと鹿児島の魅力を生かした施設やエリアにし、まちの魅力を向上させるべき。	ご意見として承ります。	E
55	3	「夢や希望がもてる」ことが肝心。面白味のある施策を打ち出してほしい。「かごりん」は便利だけでなく乗ってみたいと思わせることが大切。スタジアムも行って遊びたいと思わせることが大切。無駄遣い・浪費の影には人々の幸福感がある。失われた30年の間に「節約」のムードがはびこった。これからの経済成長には思い切って使うことが大切な気がする（経済の好循環）。	ご意見として承ります。	E
56	3	P1「DX」、P17「VR・AR」などの略称については、用語解説は付記されているが、「eスポーツ」「KPI」に関する付記のように、そもそも何（正式名称）の略称であるか分かるようにもしたかどうか。	ご意見の趣旨を踏まえ、「DX」、「VR・AR」について、正式名称を記載します。	E